



令和7年度 栃木県子どもモニター
第4回アンケート結果
(保護者)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第4回アンケート期間

令和8年1月8日（木曜日）から2月2日（月曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

301名

5. 第4回アンケート回答者数

258名

6. 第4回アンケート回答率

85.7%

7. 第4回アンケート実施におけるテーマ

テーマ1：水の災害に関することについて

テーマ2：性別によるアンコンシャスバイアスについて

テーマ3：プレコンセプションケアについて

テーマ4：こどもモニター満足度について

※ 「その他」の自由記述回答については、こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」に基づき、こども・若者にとって読みやすく伝わりやすいものとするため、内容を整理して掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	34	27	10.5%	79.4%
女性	266	230	89.1%	86.5%
その他	1	1	0.4%	100.0%
合計	301	258	-	85.7%

年齢	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
10代	0	0	0.0%	0.0%
20代	5	2	0.8%	40.0%
30代	116	100	38.8%	86.2%
40代	139	119	46.1%	85.6%
50代	40	37	14.3%	92.5%
60代	0	0	0.0%	0.0%
70代以上	1	0	0.0%	0.0%
合計	301	258	-	85.7%

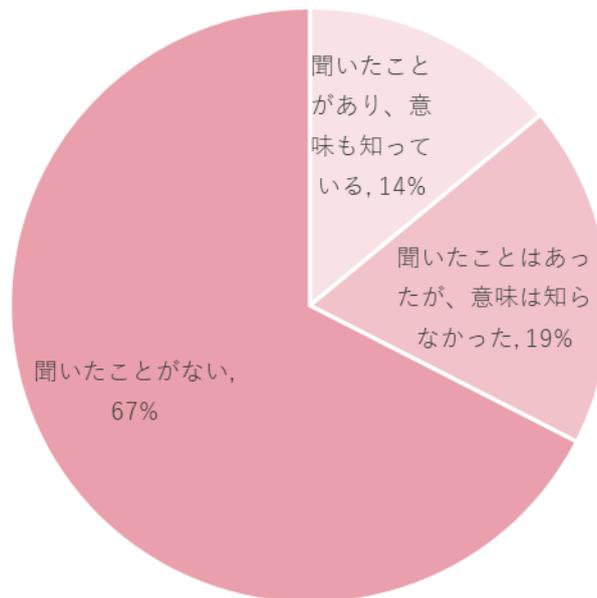
※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。そのため、合計が100.0%にならないものがあります。

※ 各アンケート結果の数値は、見やすさを重視し割合は小数点以下を四捨五入して整数で表示しています。

テーマ1

水の災害に関することについて

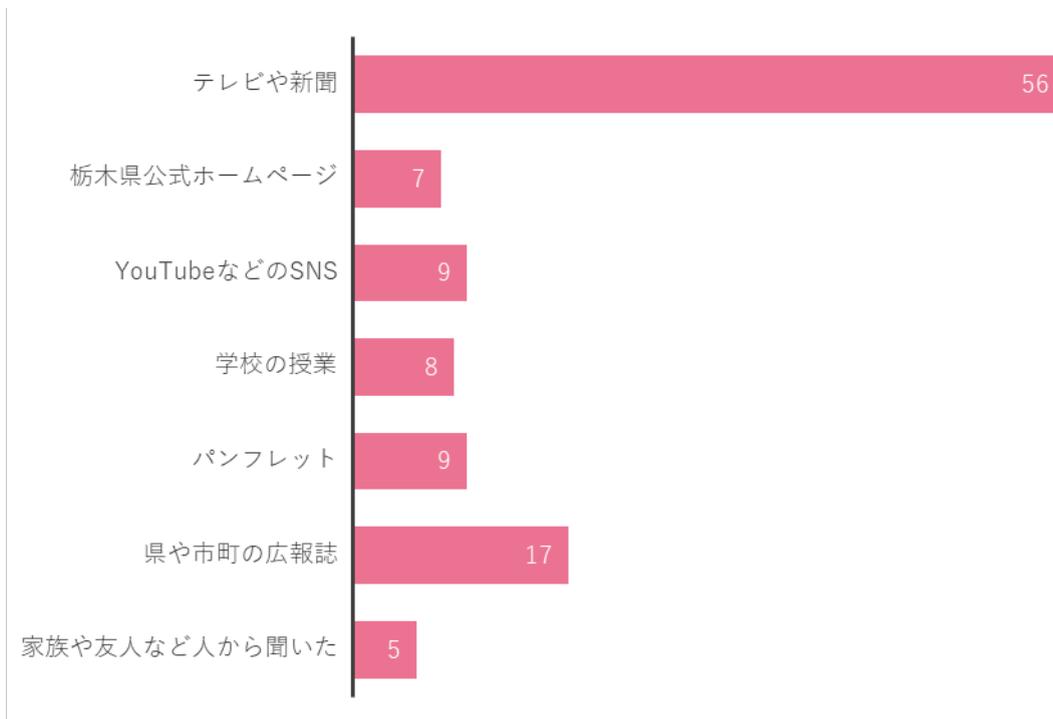
Q1.近年、台風や大雨による災害が増えています。川やダムを管理する人たちだけでなく、流域（りゅういき）に住む全員で、水による災害を減らす取組を「流域治水（りゅういきちすい）」といいます。この言葉を聞いたことがありますか。 ※「流域」とは、降った雨が小さな水路や川を通じて、大きな川に集まる範囲のこと。



【調査結果の概要】

「聞いたことがない」(67%)が最も多く、以下、「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」(19%)、「聞いたことがあり、意味も知っている」(14%)と続いている。

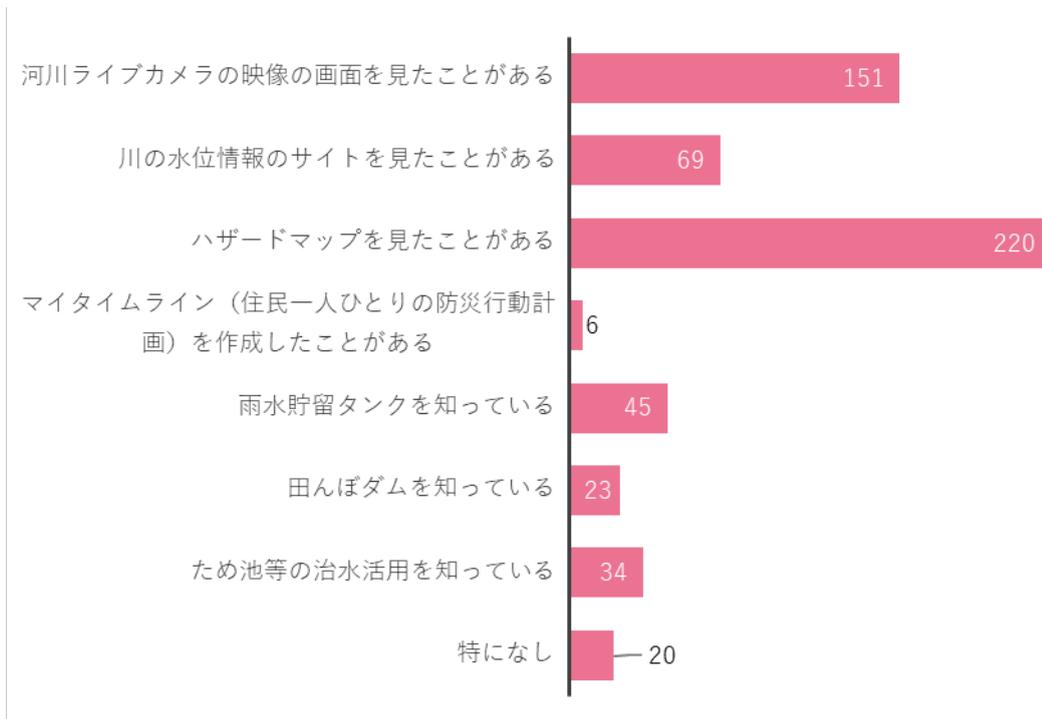
Q2.「Q1」で、「聞いたことがあり、意味も知っている」または「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」と回答した方にお聞きします。なにで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「テレビや新聞」(56件)が最も多く、以下「県や市町の広報誌」(17件)、「YouTubeなどのSNS」(9件)、「パンフレット」(9件)などと続いている。

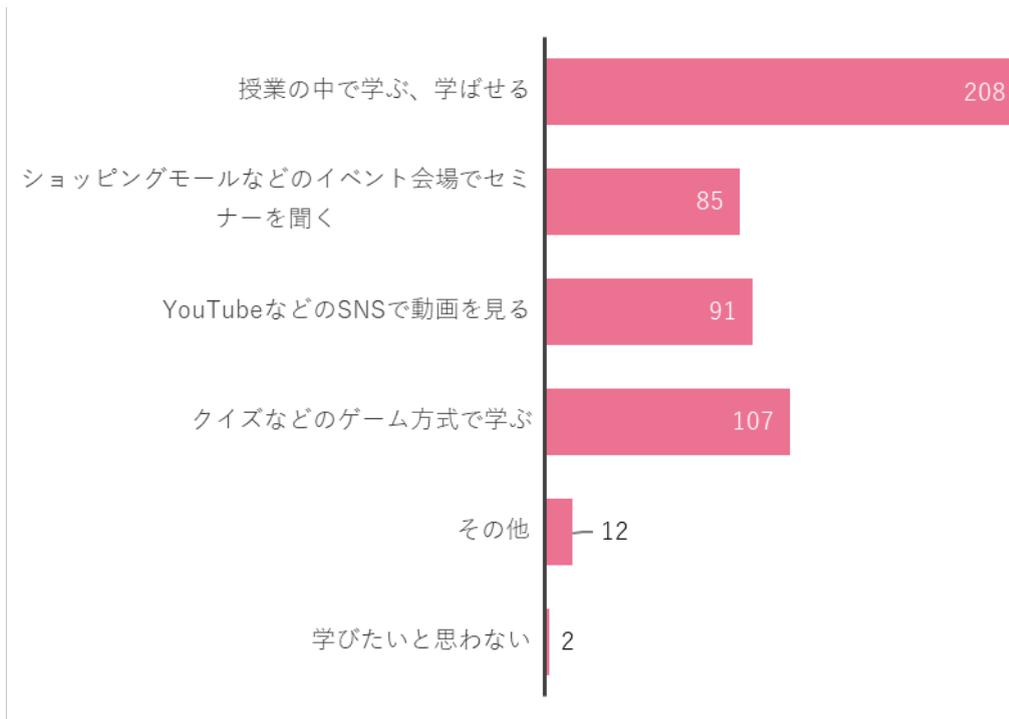
Q3.河川や防災に関する情報の活用についてお聞きします。あなた自身にあてはまるものはありますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「ハザードマップを見たことがある」（220件）が最も多く、以下、「河川ライブカメラの映像の画面を見たことがある」（151件）、「川の水位情報のサイトを見たことがある」（69件）などと続いている。

Q4.どんな方法であれば、流域治水について学ぶきっかけになりますか。【いくつでも選んでください】



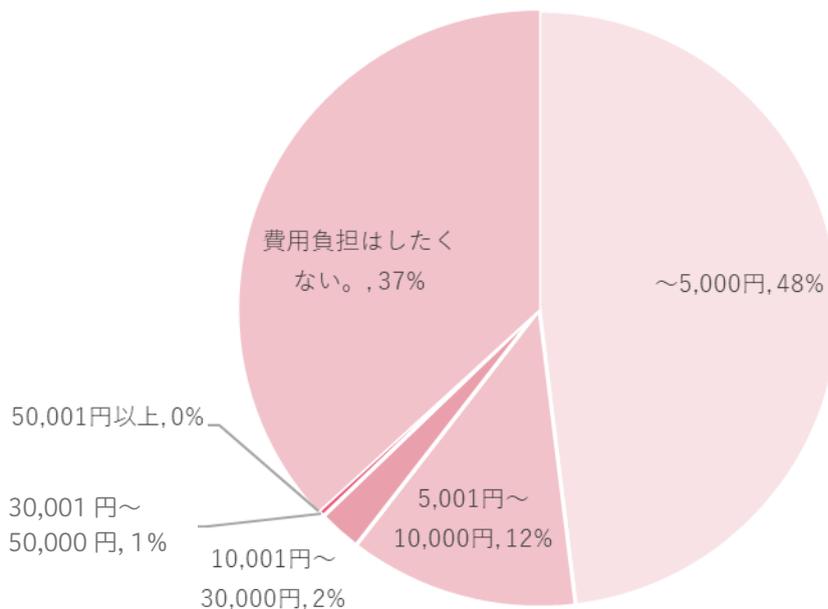
【調査結果の概要】

「授業の中で学ぶ、学ばせる」(208件)が最も多く、以下、「クイズなどのゲーム方式で学ぶ」(107件)、「YouTubeなどのSNSで動画を見る」(91件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 広報などで周知する
- ・ 地域のイベントで取り上げる
- ・ 市や県が子ども向け（保護者同伴）に見学会を開催する
- ・ 学校で習った知識も大人になると忘れてしまうので、子供と学べる機会がほしい
- ・ 子ども科学館で豪雨災害前の春や初夏に流域治水に関する催し・啓発ワークショップがあると嬉しい。自由研究の種にもなる。
- ・ 出前授業
- ・ テレビのドキュメント番組やドラマ化
- ・ 市民センター等で大雨の際の動き方や周辺地区のハザードマップを貼り出す
- ・ 水害は地域差が大きいことなので、該当地域の自治体でローカライズされた、三位一体の学ぶ方法が必要だと思う。

Q5.「田んぼダム」や「雨水貯留タンクの設置」は、県民の皆さんも取り組むことができる流域治水のひとつで、多くの人に取り組むことで水による災害を減らす効果があります。あなた自身が流域治水に取り組む場合、いくらまでなら費用負担しても良いと思いますか。



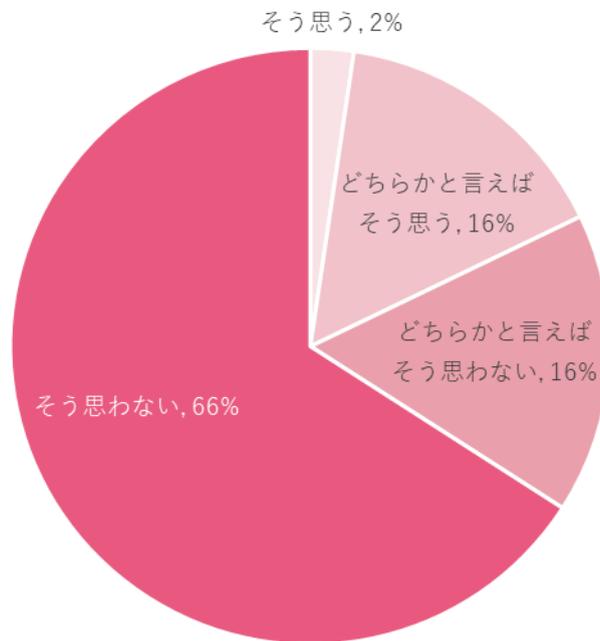
【調査結果の概要】

「～5,000円」(48%)が最も多く約半数を占めており、以下、「費用負担はしたくない」(37%)、「5,001円～10,000円」(12%)などと続いている。

テーマ2

性別によるアンコンシャスバイアスについて

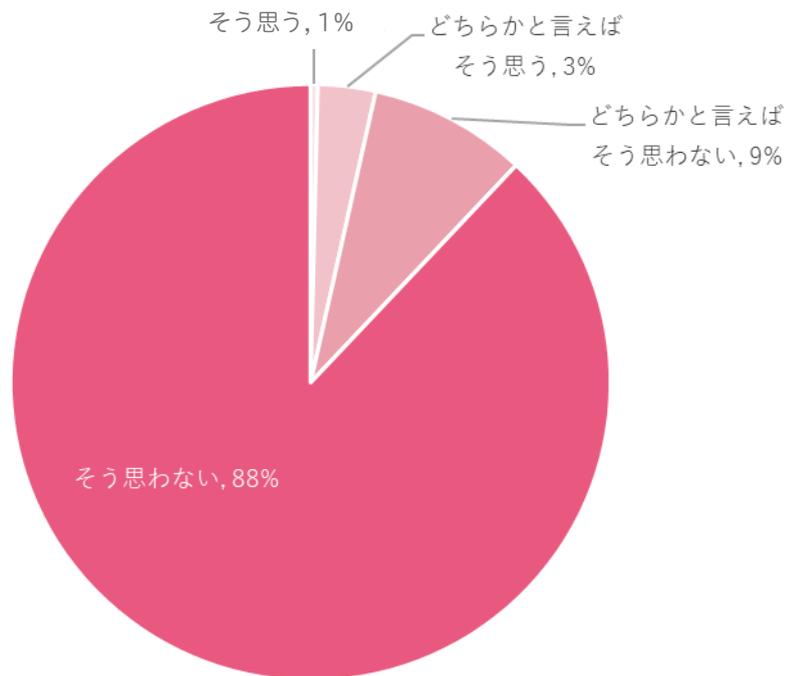
Q6.家事・育児は女性がすべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(66%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(16%)、「どちらかと言えばそう思う」(16%)などと続いている。

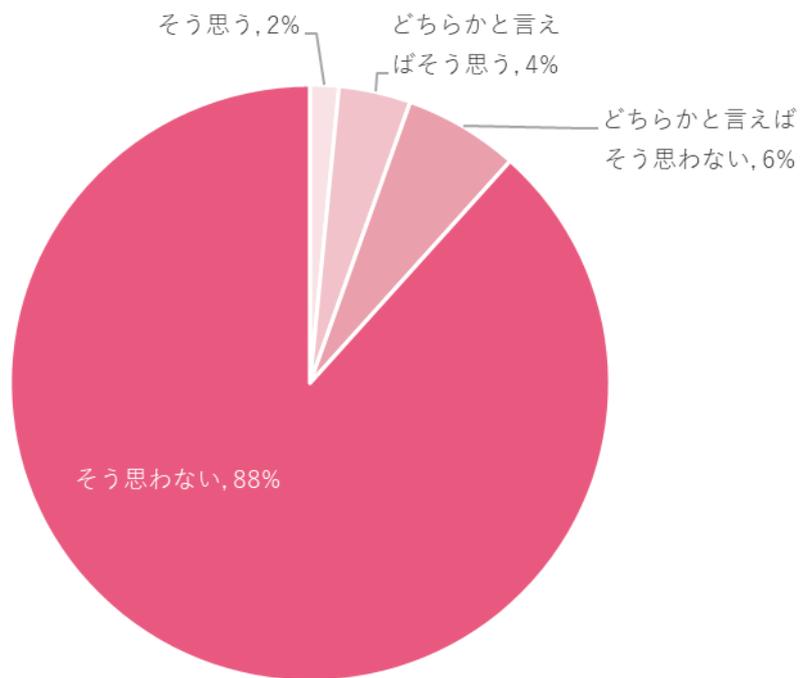
Q7.女性に理系の進路（学校・職業）は向いていないと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(88%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(9%)、「どちらかと言えばそう思う」(3%)などと続いている。

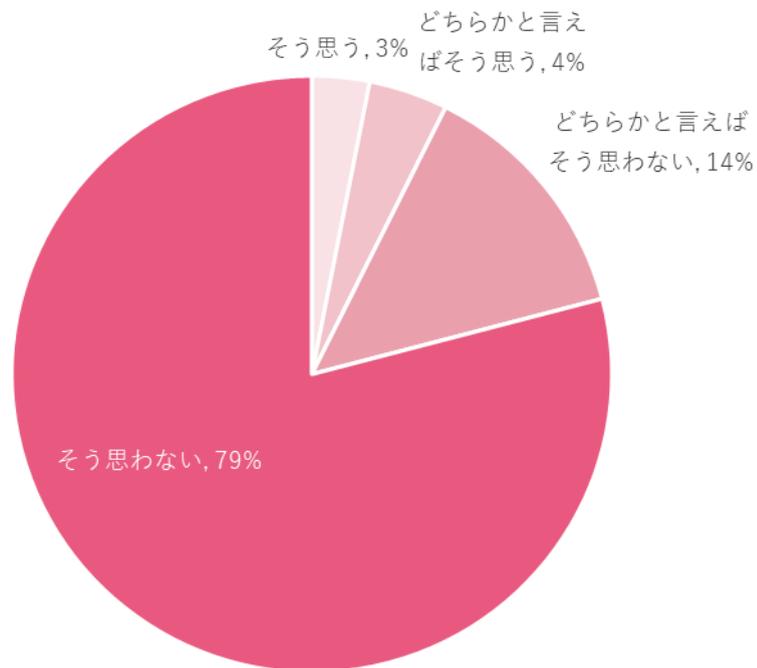
Q8.学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いていると思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(88%)が最も多く、以下、「どちらかといえばそう思わない」(6%)、「どちらかといえばそう思う」(4%)などと続いている。

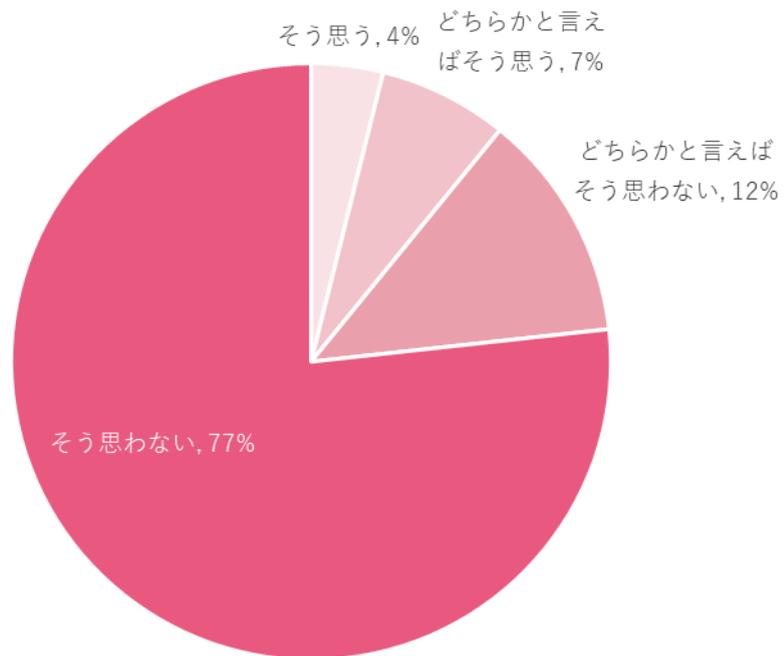
Q9.男性は出産休暇／育児休業を取るべきではないと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(79%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(14%)、「どちらかと言えばそう思う」(4%)などと続いている。

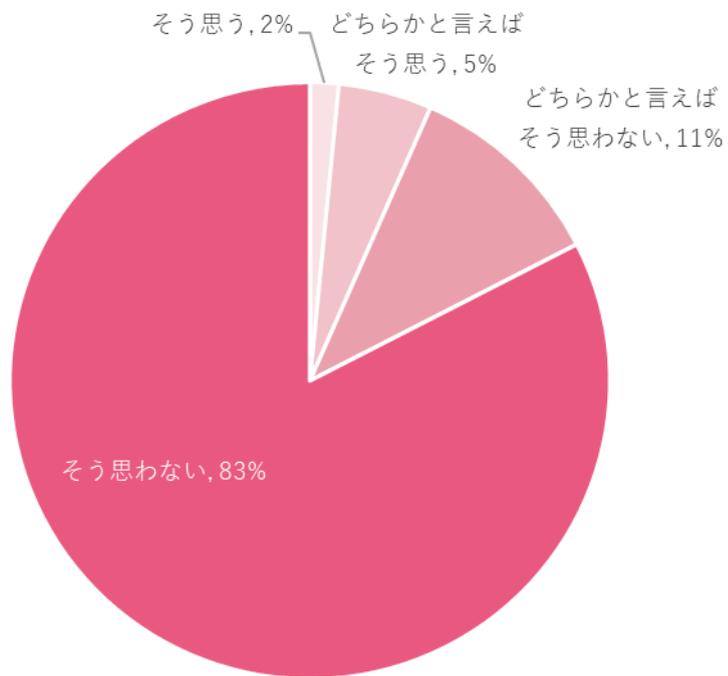
Q10.職場のリーダーは男性が向いていると思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(77%)が最も多く、以下、「どちらかといえばそう思わない」(12%)、「どちらかといえばそう思う」(7%)などと続いている。

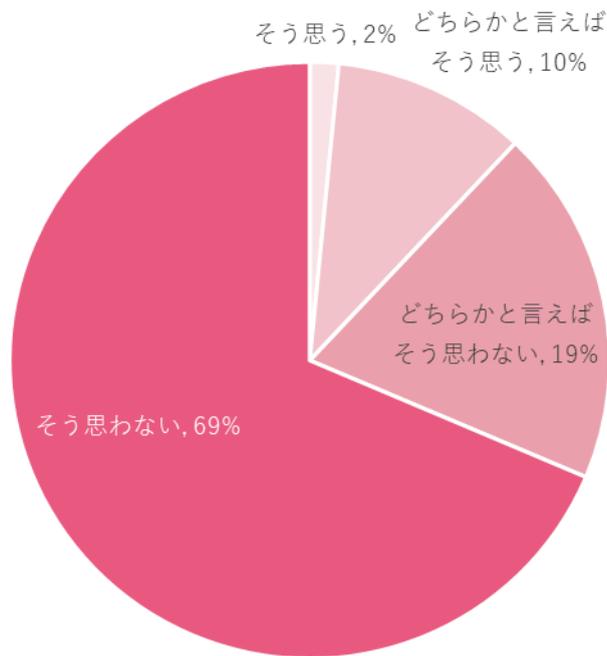
Q11.男性が夜遅くまで仕事をしたり、休みの日も仕事へ行くのは当たり前だと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(83%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(11%)、「どちらかと言えばそう思う」(5%)などと続いている。

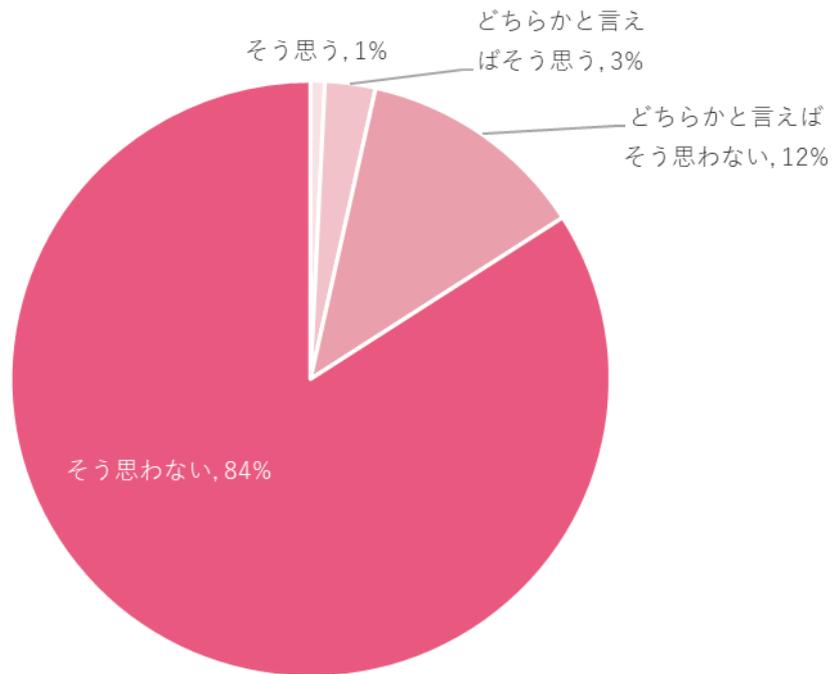
Q12.共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(69%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(19%)、「どちらかと言えばそう思う」(10%)などと続いている。

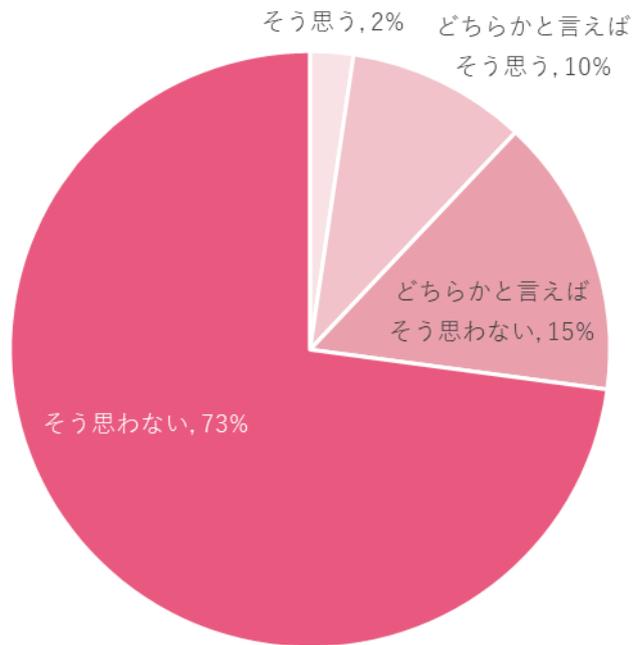
Q13.職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(84%)が最も多く、以下、「どちらかといえばそう思わない」(12%)、「どちらかといえばそう思う」(3%)などと続いている。

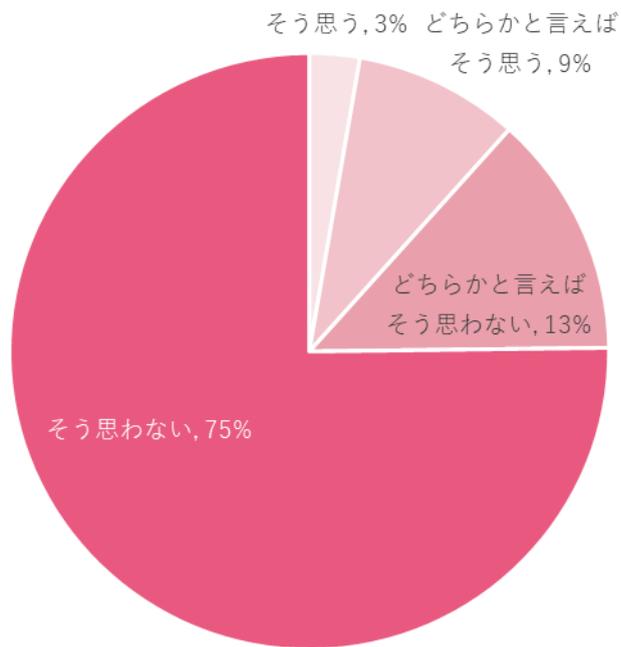
Q14.女性は結婚して家庭に入る方が良いと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(73%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(15%)、「どちらかと言えばそう思う」(10%)などと続いている。

Q15.P T Aには、女性が参加するべきだと思いますか。



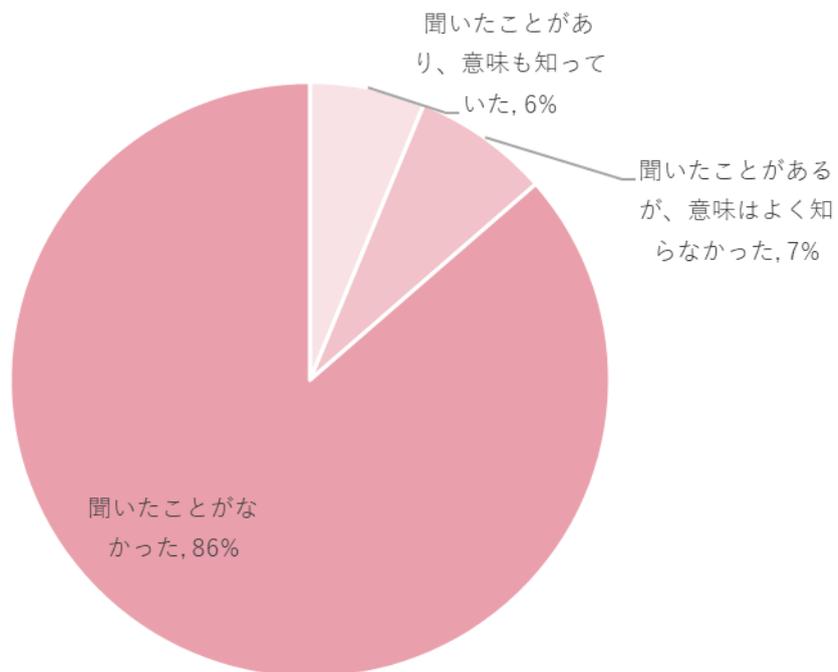
【調査結果の概要】

「そう思わない」(75%)が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」(13%)、「どちらかと言えばそう思う」(9%)などと続いている。

テーマ3

プレコンセプションケアについて

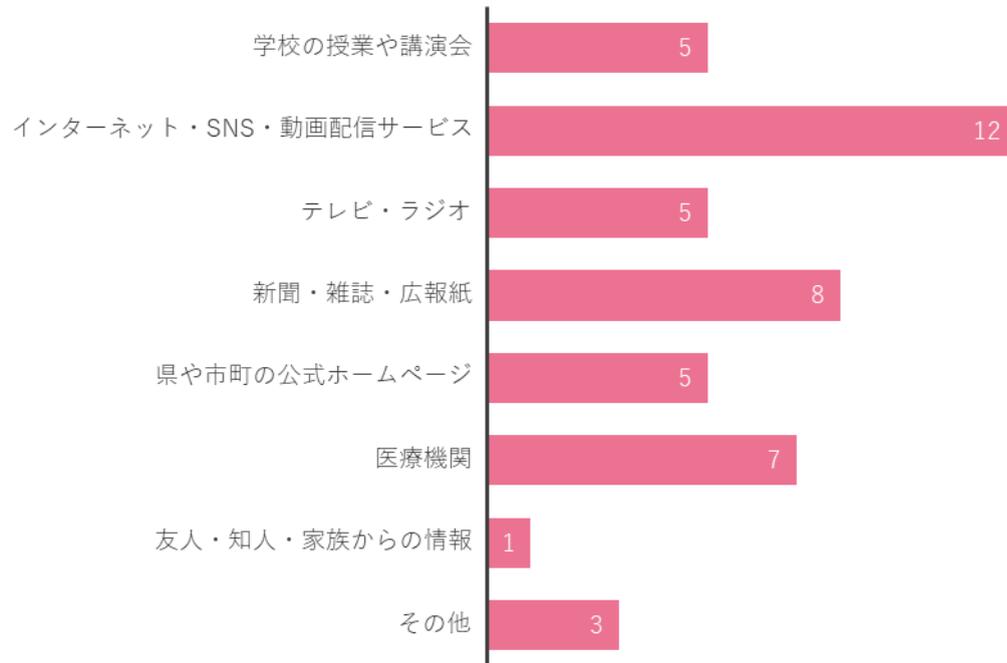
Q16.プレコンセプションケアは、「性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理」を行うことです。これまでに、「プレコンセプションケア」という言葉を聞いたことがありますか。



【調査結果の概要】

「聞いたことがなかった」(86%)が最も多く、以下「聞いたことがあるが、意味はよく知らなかった」(7%)、「聞いたことがあり、意味も知っていた」(6%)と続いている。

Q16-1.「Q16」で、「聞いたことがあり、意味も知っていた」と答えられた方にお聞きします。「プレコンセプションケア」について、どこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



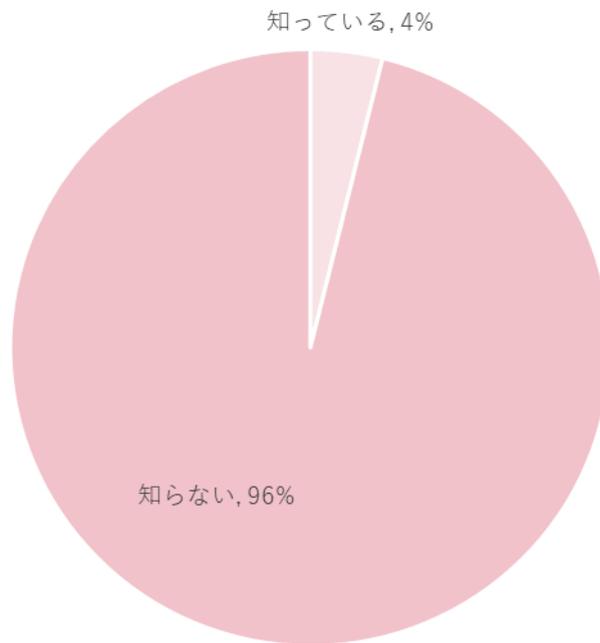
【調査結果の概要】

「インターネット・SNS・動画配信サービス」(12件)が最も多く、「新聞・雑誌・広報紙」(8件)、「医療機関」(7件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 助産師会
- ・ プレコンセプションケアに携わる仕事をしている
- ・ 職場

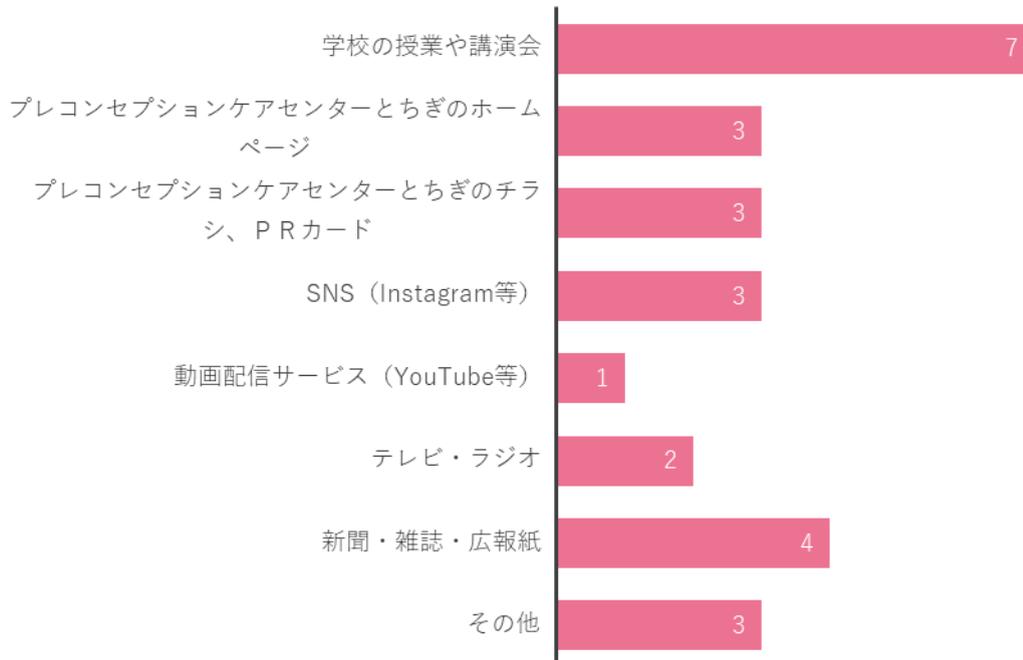
Q17.令和7年9月に開設した「プレコンセプションケアセンターとちぎ」を知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らない」(96%)が「知っている」(4%)を大きく上回る結果となった。

Q17-1.「Q17」で、「知っている」と回答した方にお聞きします。「プレコンセプションケアセンターとちぎ」について、どこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「学校の授業や講演会」(7件)が最も多く、以下、「新聞・雑誌・広報紙」(4件)、「プレコンセプションケアセンターとちぎのホームページ」(3件)、「プレコンセプションケアセンターとちぎのチラシ、PRカード」(3件)、「SNS(Instagram等)」(3件)、「その他」(3件)などと続いている。

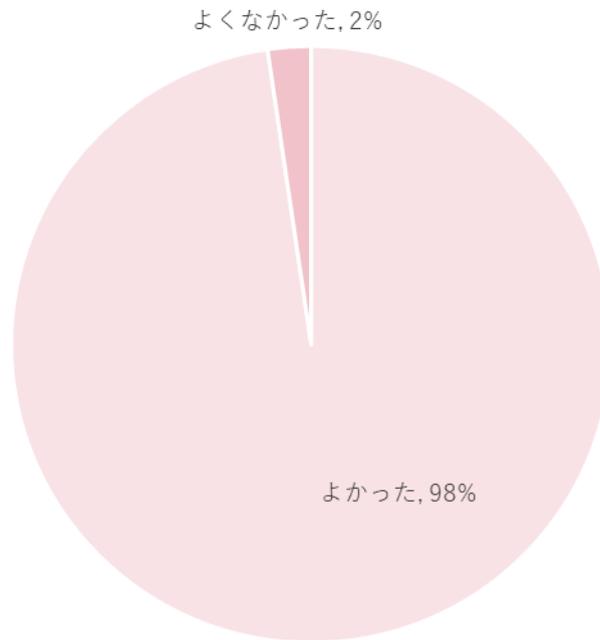
【その他の自由記述】

- ・ 助産師会
- ・ 職場

テーマ4

こどもモニター満足度について

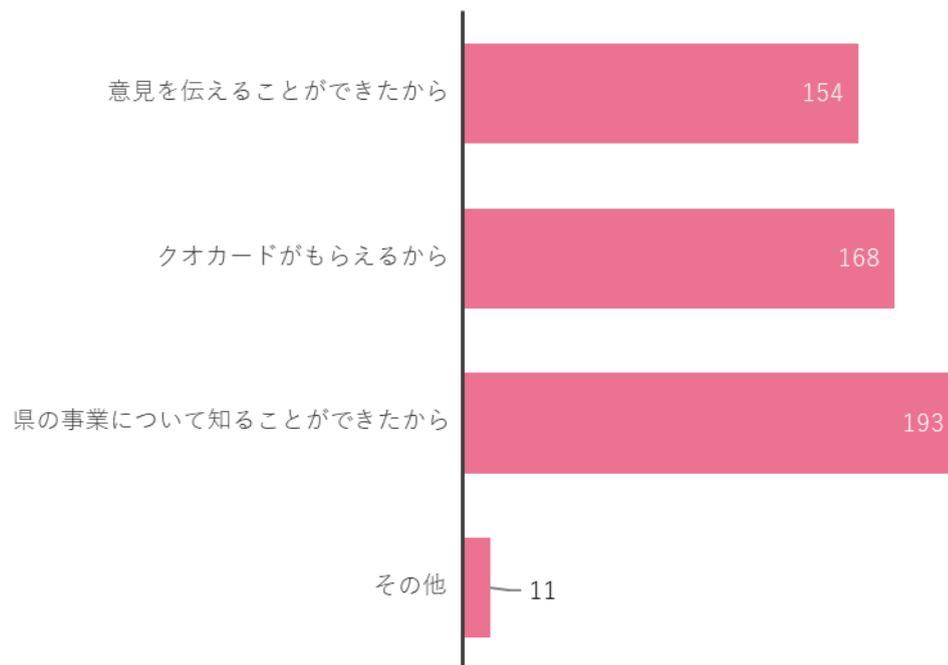
Q18.こどもモニターに参加して良かったと思いますか。



【調査結果の概要】

「よかった」(98%)が「よくなかった」(2%)を大きく上回る結果となった。

Q18-1.「Q18」で、「よかった」と回答した方にお聞きします。それはなぜですか。【いくつか選んでください。】



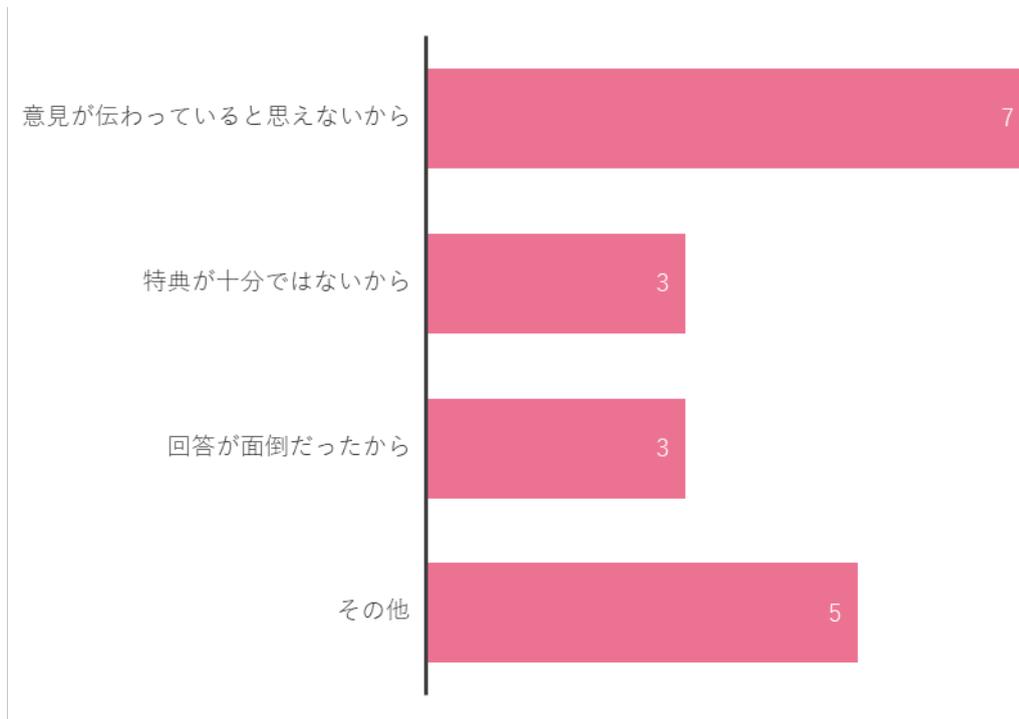
【調査結果の概要】

「県庁の事業について知ることができたから」（193件）が最も多く、以下、「クオカードがもらえるから」（168件）、「意見を伝えることができたから」（154件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 知らなかったことを知ることができた。
- ・ 考えるきっかけになったから
- ・ 子どもと参加しましたが、話すきっかけになりました。
- ・ アンケート統計を見て、他の方はどんな考えを持っているかを知ることができた、皆さんが回答した結果を見ることができたから
- ・ 今の時代の子どもを取り巻く環境や実情について関心を持つことができた。

Q18-3.「Q18」で、「よくなかった」と回答した方にお聞きします。それはなぜですか。【いくつでも選んでください。】



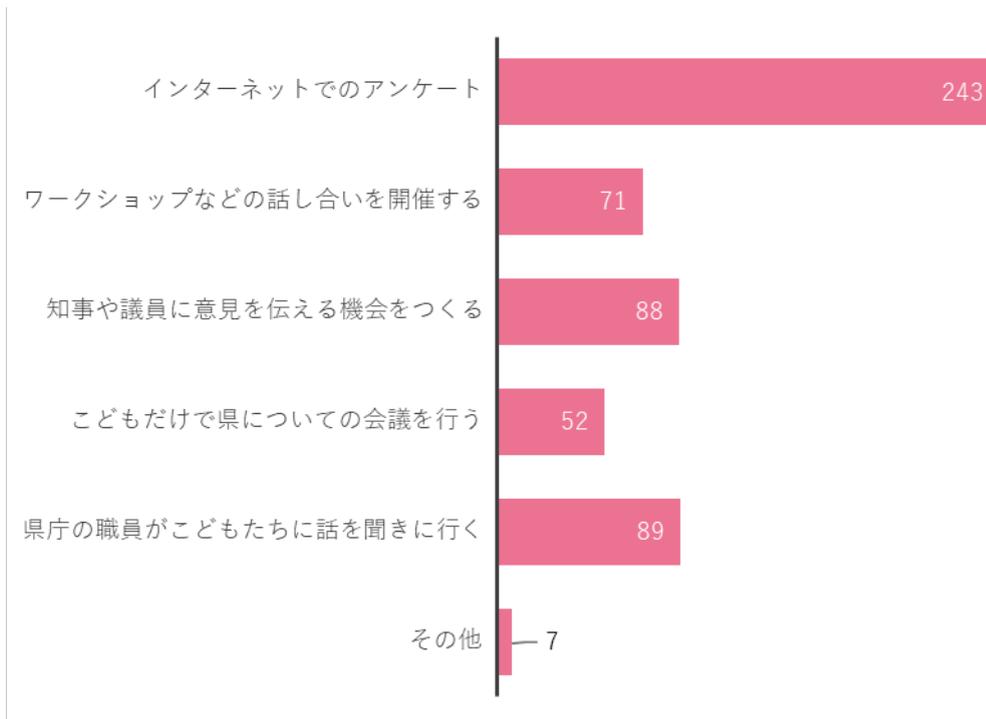
【調査結果の概要】

「意見が使わっていると思えないから」(7件)が最も多く、以下、「その他」(5件)、「特典が十分ではないから」(3件)、「回答が面倒だったから」(3件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 設問の意図や背景が項目によりわかりづらい。
- ・ 質問内容が、普段の生活にもっと影響があるような、子供のために直結するような内容ではなかった。アンケートをしてこれで生活が改善するイメージはできなかった。

Q19.子ども、若者、保護者から意見を聞く方法として、よいと思うものはどれですか。【3つまで選んでください。】



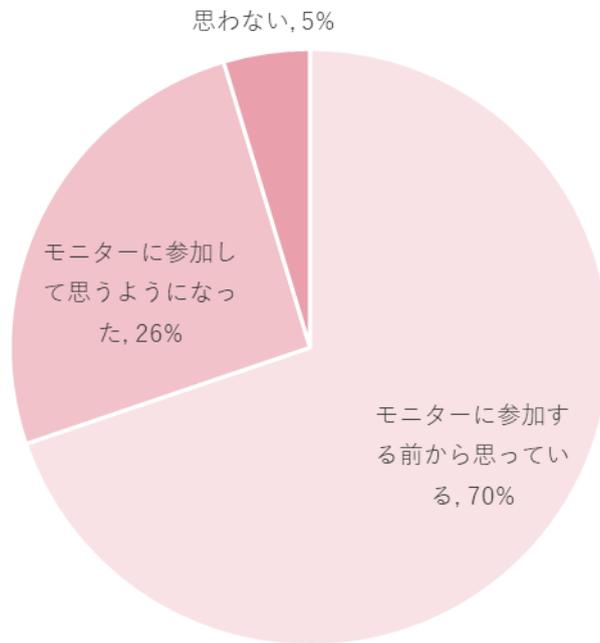
【調査結果の概要】

「インターネットでのアンケート」(243件)が最も多く、以下、「県庁の職員が子どもたちに話を聞きに行く」(89件)、「知事や議員に意見を伝える機会をつくる」(88件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 中1になる娘が昨年度、市の子ども議会に参加しました。子供なりに考えた意見を市長や議員さんへ直接伝えられる機会はなかなか出来ないのも、いい機会だと思いました。
- ・ 取り組みたい課題に関して、先進事例紹介を見越し、魅力ある有識者を招きパネルディスカッションを企画し人を集める。会の後半で意見交換をする。
- ・ 県庁職員の戸別訪問
- ・ インターネットのアンケートでよいとは思いますが、内容をもっと吟味してほしい。
- ・ 学校でアンケートを取る。
- ・ 吸い上げられた結果がどのように活かされたのか、長期的にもフィードバックが知りたい。

Q20.「自分が社会の一員である」と思いますか。



【調査結果の概要】

「モニターに参加する前から思っている」(70%)が最も多く、以下、「モニターに参加して思うようになった」(26%)、「思わない」(5%)と続いている。